

## V267a 京都大学飛騨天文台 65cm 屈折望遠鏡制御装置の改修

仲谷善一, 廣瀬公美 (京都大学・理・天文台), 植村真人, 森山雅信, 大谷一人 (株式会社西村製作所)

京都大学飛騨天文台 65cm 屈折望遠鏡は 1972 年に設置され、惑星観測を中心に使用されてきた。近年では金星、木星、土星などの偏光観測に用いられている。望遠鏡の制御装置などは建設当時のまま使用されていることから、使用すると必ず故障するということが続いており、その修理のために多くの時間を要していた。制御方法も DTL(Diode Transistor Logic) のため回路構成面積が大きく故障個所の追跡が困難であること、同等仕様の部品の入手が困難になっているということで、制御装置の更新を行った。

各種モーターの取替え、各配線の張替え、制御装置の入替えを行い、これまで行うことができなかった自動導入が行えるようになったなど、使い勝手が格段に向上した。